

蒲郡市男女共同参画情報紙

# はばたき



特集 ● 「蒲郡市男女共同参画プラン」  
～インタビューから見える未来～

「共同参画 新たな社会の パスワード」

(平成21年度 男女共同参画週間標語)

第17号

2010.3

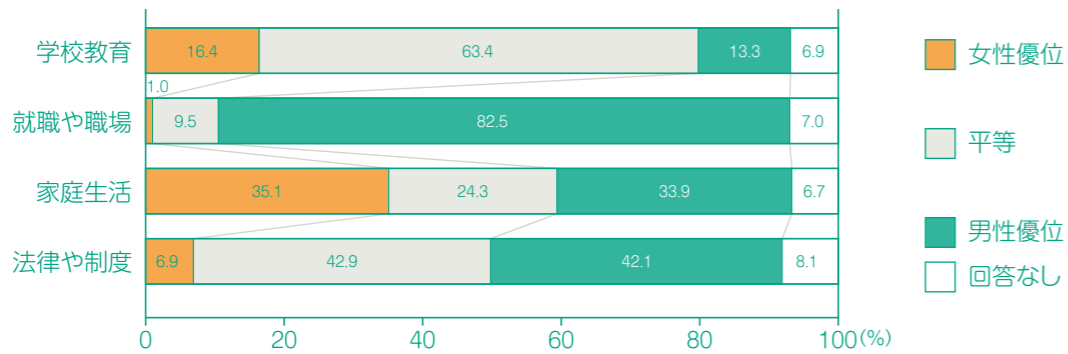
# 特集 市民意識調査 アンケート

蒲郡市では、男女共同参画プラン改定の資料とするため、市内在住の2,000人を対象に市民意識調査アンケートを実施し、778人(38.9%)の方から回答をいただきました。前回(平成11年)のアンケートと比べて10年間で意識はどのように変化したのでしょうか？



## 男女の平等について

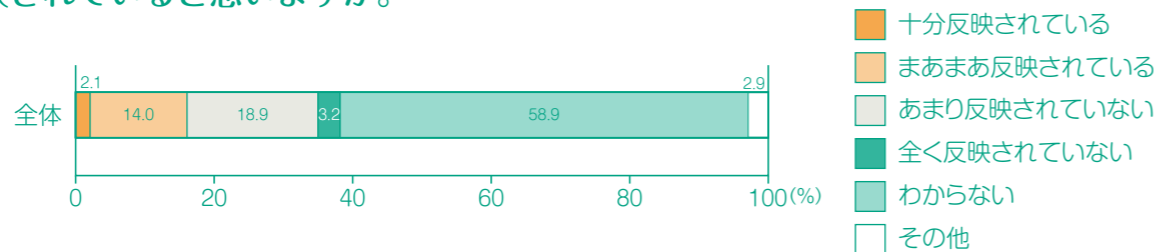
**Q** 現在、日本において、女性と男性のどちらが優位にあるとおもいますか。



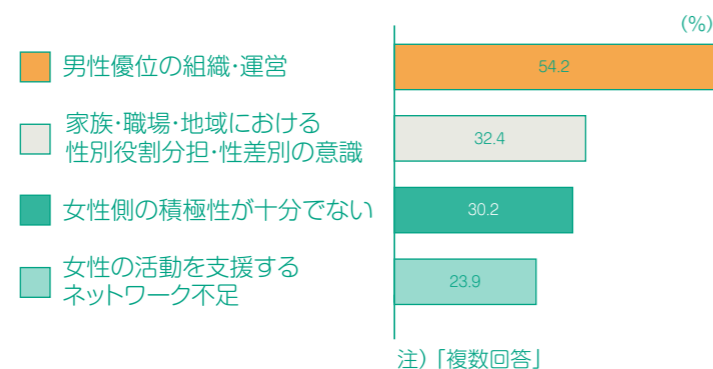
コメント ・ 前回調査と大きな変化はみられませんでした。

## 市政への女性意見の反映度について

**Q** あなたは、現在の蒲郡市の行政や地域社会の運営において、女性の意見がどの程度反映されていると思いますか。

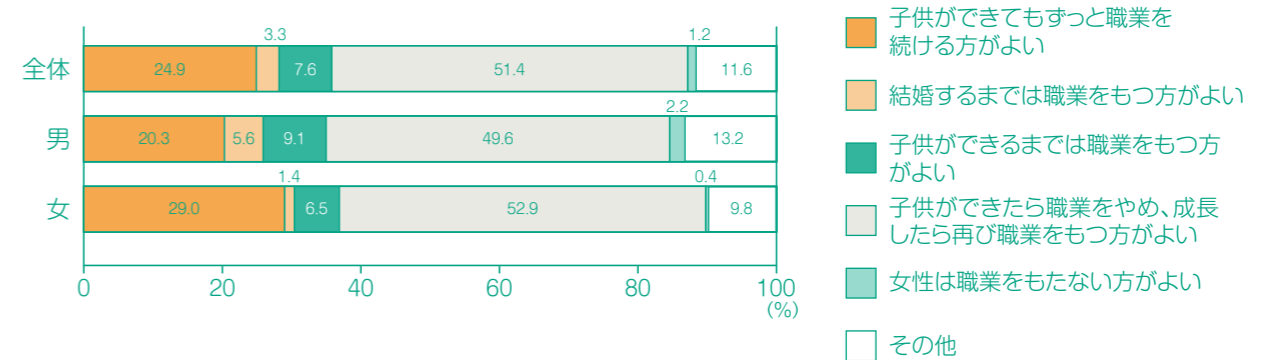


**Q** 政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性が進出していない理由は何だと思いますか。



## 女性の職業と生活設計について

**Q** 一般的に、女性の職業と生活設計について、どのようにお考えになりますか。

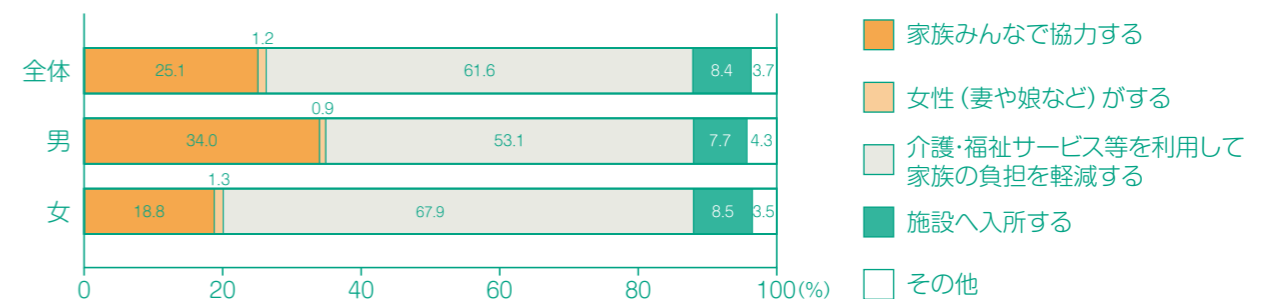


コメント ・ 全体として「子どもができてずっと職業を続ける方がよい」が前回調査の14.6%から10%近く増加しています。  
・ 「子どもができたなら職業をやめ、成長したら再び職業をもつ方がよい」との回答が過半数に達しており、子育てなどでいったん仕事を中断した女性の再就職への支援が求められていそうです。



## 家族等の介護のあり方について

**Q** 家族等の介護のあり方について、あなたの考えにもっとも近いものを選んで下さい。



コメント ・ 「介護・福祉サービス等を利用して家族の負担を軽減する」が過半数に達しており、介護サービスの充実を求める声が多いことがうかがえます。

# 男女共同参画にまつわる川柳

男女  
共同

## 入賞作品発表

蒲州市では、男女共同参画にまつわる川柳を募集し、2月7日「蒲郡男女いきいきフォーラム2010」にて、その入選作品を発表しました。

この川柳は男女共同参画社会の実現を目指して、家庭や職場、地域などで男女が互いの能力を活かして協力し合うことの大切さをうたった内容を募集したものです。

また、フォーラムにて、この入選川柳の内容を元に創作した落語を駒久家南朝さんに公演していただきました。

優秀賞  
3席

「子育てに 男女格差の 無い休暇」

大塚町 真田 貞行さん

「ごちそうさま 後かたづけは ジャンケンポン」

五井町 小田美千子さん

「得て不得手 デコとボコとで 夫婦の妙」

清田町 金子 美春さん



## 女性の 人権尊重 について

今回は、10年前のアンケートにはなかったドメスティック・バイオレンス（DV）についてのアンケートを行いました。

DV被害を受けた時の相談窓口には以下のようなところがあります。

- 内閣府DV相談ナビ ここにてんり ☎0570-0-55210
- 愛知県女性相談センター東三河駐在室 ☎0532-54-1111 内線301  
平日 午前9時から午後5時まで
- 蒲州市役所家庭児童相談室 ☎0533-66-1111 内線1299  
第2・第4金曜日 午前10時から午後3時まで

はばたき 第17号

2010.3

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行／蒲州市 企画広報課

編集／「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲州市旭町17-1

■TEL 0533-66-1162 ■FAX 0533-66-1190

■Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp

## 編集後記

蒲州市男女共同参画プラン策定から9年が経ちました。この間に少しずつではありましたが、「男だから」、「女のくせに」といった決め付けが少なくなってきたように感じます。しかし、市民アンケートのなかには性的役割分担意識が根深い項目もありました。「はばたき」では、自分らしさ、男らしさ、女らしさを大切にし、男女ともにいきいきと暮らせる蒲州市をめざして、これからも情報をお届けしていきたいと思えます。アンケートにご協力くださった皆様、ありがとうございました。